

# 1. 評価結果概要表

[認知症対応型共同生活介護用]

作成日 平成 20年7月18日

## 【評価実施概要】

事業所番号	0773100516		
法人名	医療法人 大久保クリニック		
事業所名	グループホーム おおくぼ		
所在地	福島県田村市船引町船引字扇田232-1 (電話) 0247-82-5097		
評価機関名	NPO法人福島県シルバーサービス振興会		
所在地	〒960-8043 福島県福島市中町4-20 みんなビル302号室		
訪問調査日	平成20年6月26日	評価確定日	平成20年8月4日

【情報提供票より】(平成20年5月18日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成14年4月1日		
ユニット数	1ユニット	利用定員数計	9人
職員数	8人	常勤	1人, 非常勤7人, 常勤換算4.2人

### (2) 建物概要

建物構造	木造 造り		
	1階建ての ~ 1階部分		

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	39,000円	その他の経費(月額)	9,000円
敷金	有( )円 ● 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( )円 ● 無	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	250円	昼食 300円
	夕食	500円	おやつ 150円
	または1日当たり 円		

### (4) 利用者の概要

利用者人数	9名	男性	1名	女性	8名
要介護1	1名	要介護2	1名		
要介護3	3名	要介護4	1名		
要介護5	3名	要支援2	0名		
年齢	平均 80.3歳	最低	64歳	最高	88歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	大久保クリニック
---------	----------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

開設6年経過し、満室になったこともあり運営面や職員体制も含めた管理面での体制整備が進められている。隣接の医療法人が運営者であることから、利用者の受診が容易であり、往診もなされていることから、身体面での安心感があり、落ち着いてゆったりと生活している。運営推進会議は、まだ未設置であるが、地域の人たちやボランティアの訪問もあり、今後はホーム側から積極的に地域の行事等に参加し交流することを検討している。そのためにも早急に運営推進会議を設置し、地域密着型サービスとしての理念を実践されることを期待したい。ケアマネジメントについては、利用者のフェイスシートを作成し、本人の意向や家族の意向を取り入れケアプランに反映させている。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 平成16年10月に評価受審している。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 管理者が中心となり評価項目全体について自己評価しており、職員は評価項目を選択し行なっているようである。今後は評価の意義や活用について理解を深め、職員全体で取り組むよう望まれる。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5) 運営推進会議は未設置である。運営者及び管理者が設置に向けて検討をしている。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 利用者の家族等の面会は頻繁に行なわれており、その際には家族の意見を聞き、また利用者の生活状況を伝えたり、ホーム便りを持参していただくなど家族との交流に努めている。また、日常的に必要な物品購入等の金銭出納については詳細に記載し、コピーを送付し適正に処理されている。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 地域との交流を進めるため、町内会加入を検討し、ホーム便り等を回覧するなどして、ホームの行事等への参加を促し、また、地域の行事へ参加するなど地域とのかかわりを一層進めて欲しい。

## 2. 評価結果 (詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	開設以来の運営理念・基本理念を基に職員全体で協議し、地域密着型のグループホームのあり方を具体的に盛り込んだサービス理念を作成している。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	日常のサービス提供の場やスタッフ会議において、折に触れ理念の具体化に努めている。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会へは未加入であるが、近隣の住民の理解と協力を得て草刈りなどをしてもらっており、高校生が清掃のボランティアに来てくれている。		地域住民からの働きかけを待つだけでなく、ホームの側から行事や催事などの情報を提供したり、地域の行事へ積極的に参加する機会を増やしていくことが望まれる。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	現在の職員体制で受審する外部評価は初めてであるが、自己評価を行ないながら日ごろのケアを振り返ったことで、改善する部分の具体的な課題を共有できるようになってきている。		評価の意義について十分理解し、管理体制も整いつつあることから職員間の連携も円滑に図られており、今後、改善に向けて取組みが期待できると思われる。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は未設置であり、地域代表や地域包括支援センターなどへの具体的な働きかけはまだ行っていない。	○	運営者が医師であり、同地区での長年の医療実績を生かして、行政や地区への働きかけを積極的に行い、早期に運営推進会議を立ち上げ、地域密着型サービスの理念を具体的に実現していただきたい。
6	9				
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	ホーム便りを発行して定期的に家族へ送っている。またその際に、預かり金出納帳のコピーも同封し報告している。家族の訪問も、毎日訪問する家族、3週間ごとに定期的に訪問する家族など、訪問者は比較的多いので、職員との信頼関係が築かれている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の訪問時や利用者の外泊時に、気軽に要望や意見を出してもらえよう配慮している。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員は復職者も含め比較的定着しているが、新任職員は、3日間程度現任者との二人体制で業務に当たり、利用者への影響を最小限にし、信頼関係を円滑にするよう努めている。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	認知症グループホーム連絡協議会の研修などへ積極的に参加している。職員の雇用管理についても検討しているところである。また、今年度半ばからは介護福祉士資格取得のための通学についても便宜を図ることとしており、職員の学習意欲も盛んである。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	全国及び本県の認知症グループホーム連絡協議会に加入しており、情報の収集や交換は出来ているが、同業者との交流がなされていない。	○	近隣に数箇所のグループホームがあるので、日常的な情報交換や相互訪問など積極的な交流を行うことにより、サービスの質の向上に繋げて欲しい。
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応(小規模多機能居宅介護事業所のみ記入)</b>					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している(小規模多機能居宅介護)	/		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	人生の大先輩であることを常に念頭に置いて、利用者の一人ひとりが出来ること、得意とすることを見つけ出して、日常生活に彩りを添える努力をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者ごとのフェイスシートを作成し、状態像を把握している。また、利用者の日常生活から思いや意向を感じ取り、家族からの情報を取り入れながら、ケアに反映するよう努めている。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者や家族の意向を取り入れながら計画を作成し、サービス内容に反映された計画となっている。		介護計画のサービス内容が介護記録に反映されていない部分も見受けられたので、計画と記録とが連動するような記載方法を検討してはどうか。
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	目標に沿った援助内容を職員が日々意識してケアできるよう検討しているところである。設定した期間での見直しを行なっているが、利用者にとってサービス内容が適切であったかどうかのモニタリングが見えにくい。		介護記録の中から新たなニーズが発見できるよう、モニタリング評価を行ない、ケアプラン変更の必要性が確認できるようにして欲しい。
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援(小規模多機能居宅介護事業所のみ記入)</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている(小規模多機能居宅介護)	/		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	運営主体がクリニックであることから、定期的な訪問診療も行なわれている。主治医や専門医療機関へは家族の付き添いで受診している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期に対するホームとして対応できる範囲の具体的な対応指針や、重度化に伴う意志確認書の作成は未整備である。	○	早い段階から重度化や終末期の医療処置等の対応について、家族や医師等を交えて対応指針を定め、急変時には統一した支援ができるよう日頃から話し合いを行うことが望ましいと思われる。
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者のプライバシーを尊重し言葉遣いにも十分留意したり、利用者の羞恥心にも配慮しケアに努めている。また、運営規程に基づき個人情報保護を徹底させている。採用時の誓約書を整備することとしている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者がゆったりと自由に過ごせるよう、身体や気分にも配慮し希望に添って支援している。それぞれの趣味に沿ったぬり絵、編み物道具などが置かれてあり、楽しそうに活用している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の後片付け等も利用者の協力を得ながら行っており、職員は利用者とは話をしながら、利用者のペースに合わせて食事を楽しんでいる。調理方法も利用者の身体状況に合わせたものとなっている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	原則週2回の入浴となっており、利用者の希望や状況に合わせて支援している。一緒に入浴を希望する方もおり、入浴拒否の方はいない。		
<b>(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援(認知症対応型共同生活介護事業所のみ記入)</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている(認知症対応型共同生活介護)	利用者の趣味や得意分野等を把握し、レクリエーションの場や作業の場作りをしながら支援している。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している(認知症対応型共同生活介護)	散歩や日常の買い物、美容室等出来るだけ外出の機会を設けるよう努めている。また、介護タクシー会社のバスを活用しドライブを楽しむこともある。		
<b>(4)安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	職員のさり気ない見守りにより、落ち着いて過ごしており、日中は鍵はかけていない。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	防火管理者研修を受講し管理者を選任することとしている。消防署の指導により消防訓練を行なっている。ただ、備蓄は行なわれていない。	○	防火管理者を選任し、消防計画の作成や防火管理業務を行なうとともに、災害に備え、備蓄として最低限の食料や水、また暖房用機器などの準備が必要である。
<b>(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	生活チェック表により食事や水分の摂取量を把握し、利用者の変化や異常の発見に努め、状態変化に応じた対応を行なっている。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
<b>(1) 居心地のよい環境づくり</b>					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホームの建物は交通量の多い道路に面しているが、玄関先の駐車場が広いので、騒音などは入ってこない。共用空間は明るく清潔に保たれ、こぶりながら舞台もあり、利用者は思い思いの場所で、くつろぐことが出来ている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	室内は、それぞれの好みを取り入れられている。寝具は基本的にはベッドだが、転落が心配される利用者には、床にマットと布団を敷いて休めるよう配慮されている。		

※  は、重点項目。



### 3 評価結果に対する事業所の意見

事業所名 グループホームおおくぼ

記入担当者名 吉田 久美子

#### 評価結果に対する事業所の意見

特になし

#### 評価結果に対する「事業所の意見」の記入について

意見については、項目No.を記入してから内容を記入してください。